



# かみとんだ 議会だより

第142号

2013.6



3月29日「はるかぜ保育所」竣工式

## 3月議会で5議員が一般質問を行いました！

- 山本明生議員： ☆オカフジについて ☆上中表示について ☆ひょうたん橋交差点について  
☆トリムコース整備について
- 吉田盛彦議員： ☆上富田町市ノ瀬診療所について  
☆2011年台風12号災害の復旧の進捗状況について
- 沖田公子議員： ☆ごみ問題について ☆介護支援ボランティア制度の導入について
- 木村政子議員： ☆体罰問題について ☆不燃物収集袋の改良について
- 井潤 治議員： ☆生活保護基準の引き下げについて（生活扶助基準の見直し）  
☆体罰問題について（体罰・暴力のない学校をどう構築していくのか）  
☆予防接種法対象外・予防接種法に基づく既存定期接種ワクチンの問題について  
☆遊休町土（田・畑）の現状と将来的方向について

発行／和歌山県上富田町議会 編集／議会広報特別委員会

〒649-2192 和歌山県西牟婁郡上富田町朝来763

TEL(0739)47-0550 FAX(0739)47-5959

「議会だより」は、上富田町のホームページにも掲載しています。

# 会期（平成25年3月7日～25日） 19日間

# 3月 議会

3月定例会に町長から提出された案件は、条例5件、指定管理者の指定1件、規約の一部改正1件、平成24年度一般会計補正予算1件、特別会計補正予算8件、平成25年度各会計の当初予算14件、工事請負変更契約1件、土地取得1件、人事案件1件で、いずれも原案どおり可決しました。

## 主な条例

### ◎上富田町消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例

（この条例は、「障害者自立支援法」の法律名が「障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律」に改められることによる所要の改正するものです。）

### ◎上富田町新型インフルエンザ等対策本部設置条例

（この条例は、新型インフルエンザが発生時に、その脅威から住民の生命と健康を守り、住民の生活や地域経済に及ぼす影響を最小限に抑えるために条例を制定するものです。）

### ◎上富田町町道の構造の技術的基準等を定める条例

### ◎上富田町準用河川に係る河川管理施設等の構造の技術的基準を定める条例

（以上2条例は、第1次地域主権一括法による各関係法の改正により、各省令で定めている国の基準を参酌して平成25年3月31日までに条例で定めるものです。）

### ◎上富田町くちくまの文化交流館設置及び管理に関する条例

（この条例は、本町における文化及び芸術の振興並びに町民の交流の活性化、生涯学習関連事業の推進を図るため、条例を制定するものです。）

「旧オキ外科宅」が「くちくまの文化交流館」にリニューアルされました。



## 工事請負変更契約

◎工事名 …………… 平成24年度 23年災 第339-511号  
農業用施設災害復旧事業 山王農道災害復旧工事

契約金額 ……………	変更前	金	96,357,450円
	変更後	金	91,287,000円
		(金	5,070,450円 減)

契約の相手方 …… 和歌山県西牟婁郡上富田町生馬567-1  
株式会社 後工務店 代表取締役 後 雅雄

## 人事案件

### ◎固定資産評価審査委員会委員の選任について

任期満了に伴う固定資産評価審査委員会委員の選任については、次の方の選任同意が提出され、全会一致で選任に同意しました。

上富田町岡 平田 幸次 氏

### <平成25年度当初予算>

#### 平成25年度の一般会計・特別会計予算額

会 計 名		予 算 額	
一 般 会 計		56億5,500万円	
特 別 会 計	国 民 健 康 保 険 事 業	20億8,995万7千円	
	後 期 高 齢 者 医 療	2億3,911万8千円	
	介 護 保 険	12億247万1千円	
	診 療 所 事 業	4,443万1千円	
	宅 地 造 成 事 業	2億550万円	
	宅 地 取 得 資 金 貸 付 事 業	212万5千円	
	住 宅 新 築 資 金 貸 付 事 業	859万2千円	
	奨 学 事 業	844万1千円	
	水 道 事 業	収 益 的 事 業	4億5,300万円
		資 本 的 事 業	2億1,544万2千円
	農 業 集 落 排 水 事 業	1億8,376万7千円	
	公 共 下 水 道 事 業	2億9,770万9千円	
	朝 来 財 産 区	477万3千円	
	西 牟 婁 郡 公 平 委 員 会	130万5千円	
計		106億1,163万1千円	

平成25年度の一般会計当初予算は56億5,500万円で、対前年度と比較すると、1億5,200万円(2.6%)の減となっています。

本年度は、第4次総合計画を踏まえ、『明るく豊かなまちづくり』を推進するための予算編成となっています。

引き続き財源の確保に努めている状況ですが、役場本庁舎の耐震改修事業や、高速道路推進に向けた残土処分場の整備といった建設事業に加え、東日本大震災を教訓とした防災対策費にも財源を割く必要があることから、引き続き厳しい財政運営となっています。

#### 平成25年度 一般会計予算の主な歳出

### 議会費

・議員共済会負担金……………1,824万8千円

(地方議員年金制度廃止に伴う経過措置としての給付に要する負担経費)

・定例会等議事録筆耕翻訳料……………60万円

(3月・6月・9月・12月に行う議会定例会及び臨時会の会議録筆耕翻訳料)

## 総務費

### (総務管理費)

- ・町内会運営補助金…………… 598万円  
(98町内会へ、1戸当たり1,300円を運営補助)
- ・防災対策費…………… 9,976万2千円  
(既存の防災事業及び庁舎耐震改修工事請負費、蓄電池付太陽光発電装置設置工事請負費)
- ・チャイルドシート購入費補助金…………… 40万円  
(チャイルドシート購入費の2分の1を補助する。但し補助金の上限は10,000円)
- ・くちくまのコミュニティバス運行経費補助金…………… 1,500万円  
(町内で運行しているコミュニティバスの運行を委託している明光バスへの補助)
- ・みんなが学んで花ひらく口熊野かみとんだ事業費…………… 2,093万9千円  
(都市との交流、各種イベント、文庫育成補助金、国際交流協会等への補助金及び 武道用具等購入補助金等)
- ・男女共同参画社会推進費…………… 110万円  
(男女共同参画社会の形成に関する取組のための費用)  
平成24年10月1日、県下初の男女共同参画条例が制定されました。



役場玄関前に設置されたプレート

- ・地籍調査費…………… 1億27万5千円  
(平成23年度末で、事業の進捗率は、町全体要調査面積の約44%の24.37km<sup>2</sup>となっている。平成25年度の新規地区は、生馬字白滝、小西、小房、生馬口地区を調査予定)

### (徴税費)

- ・和歌山地方税回収機構負担金…………… 133万7千円  
(税の滞納整理のために県下市町村で設立している地方税回収機構への町負担金)

### (統計調査費)

- ・指定統計調査費…………… 49万2千円  
(工業統計、住宅土地統計、農林業センサス準備調査、教育統計、経済センサス準備調査、商業統計準備調査にかかる費用)

## 民生費

### (社会福祉費)

- ・地域福祉センター管理委託料…………… 2 5 0 万円  
(指定管理者制度に伴い、上富田福祉センターを町社会福祉協議会に管理委託する費用)
- ・特別会計介護保険繰出金…………… 1 億 9, 4 3 6 万 6 千円  
(介護保険会計の町負担分として一般会計より繰出)
- ・緊急通報監視センター委託料…………… 2 4 5 万 7 千円  
(一人暮らし高齢者の安否確認を総合警備保障に委託)
- ・敬老年金…………… 3 6 0 万円  
(80歳以上の方に、年額3,000円を支給)
- ・在宅ねたきり老人介護者手当…………… 4 8 万円  
(月額4,000円を在宅介護されている方に支給)
- ・扶助費(障害福祉サービス等給付費 他)…………… 3 億 2, 5 7 6 万円  
(障害者自立支援法に係る福祉サービス給付費他)
- ・県後期高齢者医療広域連合負担金…………… 2 5 5 万 9 千円  
(平成20年度より開始された75歳以上の後期高齢者医療制度を県下全市町村による広域連合で運営するための町負担金)
- ・特別会計後期高齢者医療繰出金…………… 1 億 5, 2 6 4 万円  
(平成20年度より始まった後期高齢者医療会計への町負担分を一般会計より繰出)
- ・扶助費(重度心身障害児(者)・乳幼児・ひとり親家庭 他医療費)…………… 8, 5 9 7 万 3 千円
- ・特別会計国民健康保険繰出金…………… 1 億 7, 1 5 7 万 2 千円  
(国民健康保険会計の町負担分を一般会計より繰出)

### (児童福祉費)

- ・保育所運営費…………… 3 億 3 3 7 万 3 千円  
(町内3つの保育所の運営費及び広域保育所運営委託料等)
- ・保育所整備事業費…………… 2, 9 0 4 万 5 千円  
(岩田、生馬保育所除却工事費他)
- ・児童手当費…………… 2 億 7, 1 5 0 万円  
(0歳から中学校修了までの子どもを養育している父母等に対し、月額3歳未満1万5千円、3歳以上小学校修了前1万円但し第3子以降は1万5千円、中学生は1万円を支給。但し所得制限有り)

- (災害救助費)…………… 1, 2 0 5 万円  
(災害が起きたときの災害弔慰金・災害見舞金・災害援護資金貸付金等)

## 衛生費

### (保健衛生費)

- ・委託料(乳幼児健診・妊産婦検診 他)…………… 1, 3 2 0 万 5 千円  
(医療機関等へ委託して、保健センターで実施)
- ・公立紀南病院組合負担金(運営費 他)…………… 5, 4 0 1 万 2 千円  
(田辺市、みなべ町、白浜町、上富田町で組織する紀南病院組合への町負担分)
- ・病院群輪番制負担金…………… 1 8 9 万 6 千円  
(休日における診療当番の医療機関に係る負担金・・・田辺周辺広域市町村圏組合で調整)

- ・不妊治療費補助金 ..... 21万円  
(不妊に悩む夫婦に対して、一般不妊治療費の一部を補助)
- ・妊婦健康診査費補助金 ..... 60万円  
(子どもを産み育てようとする世帯の経済的負担を軽減するため、妊産婦健診費用について一部を補助)
- ・予防費委託料(各種検診、インフルエンザ 他) ..... 5,986万7千円  
(がん検診他について、医療機関等へ委託)
- ・斎場事務業務委託料 ..... 700万円  
(白浜町の斎場使用に係る委託料)

### (清掃費)

- ・委託料(可燃物、不燃物収集委託料 他) ..... 7,903万円  
(町内の可燃物、不燃物収集に係る委託料 他)
- ・上大中清掃施設組合負担金(運営経費 他) ..... 1億2,743万8千円  
(田辺市・上富田町で組織する組合の運営経費と建設経費に伴う町負担金)
- ・富田川衛生施設組合負担金 ..... 8,445万4千円  
(白浜町・田辺市・上富田町で組織する組合の経常経費と建設経費に伴う町負担金)
- ・ごみステーション補助金 ..... 20万円  
(ごみ集積箱の設置に対する補助で、補助率5割で限度額25,000円)
- ・電気式生ごみ処理機購入費補助金 ..... 20万円  
(購入費の1/3を補助、限度額20,000円)
- ・(財)紀南環境整備公社運営費補助金 ..... 586万3千円  
(紀南の11市町村でごみ最終処分場の計画を進めている整備公社への町負担分)
- ・合併処理浄化槽補助金 ..... 1,641万2千円  
(各家庭における合併処理浄化槽設置に伴う補助金 区域制限等条件あり)

## 農業費

- ・上富田町農業振興協議会補助金 ..... 592万4千円  
(協議会は、農業振興の研究、研修、事業等を行っている。)
- ・特別会計農業集落排水事業繰出金 ..... 1億3,630万6千円  
(特別会計農業集落排水事業会計へ一般会計から繰出)
- ・中山間地域等直接支払事業交付金 ..... 1,610万円  
(中山間地域の農地の耕作放棄の発生を防ぐために事業実施地区へ交付)
- ・有害駆除捕獲補助金 ..... 396万円  
(有害駆除捕獲の補助金 イノシシ1頭10,000円 シカ1頭10,000円 サル1頭30,000円  
アライグマ1頭 3,000円)
- ・ニホンジカ管理捕獲補助金 ..... 66万円  
(捕獲の補助金 銃—15,000円 わな—6,000円 )

## 林業費

- ・上富田町間伐等実施事業補助金 ..... 200万円  
(間伐等の手入れが出来ていない森林等が崩壊する被害が多く出ているため、除伐・間伐、下草刈に補助を行う。)

## 商工費

- ・商工会補助金 ..... 330万円  
(上富田町商工会への補助金)
- ・知的創造活動促進奨励金 ..... 30万円  
(工夫・発明等の特許権、商標登録等に要する国への費用について、町が一部助成)
- ・経営安定奨励金 ..... 30万円  
(上富田町における事業所等の新設並びに経営の安定維持を行う者に対し、奨励措置を講じ産業の振興及び雇用機会の拡大維持を図る。)
- ・事業所等設置奨励金 ..... 145万5千円  
(上富田町へ新たな事業所等の立地促進を奨励する。)
- ・観光協会補助金 ..... 189万9千円  
(上富田町観光協会への補助金)

## 道路橋梁費

- ・高速道路推進費産業振興施設設計業務委託料  
..... 1,000万円  
(岩崎地内サービスエリア「仮称くちくまの交流館」  
設計業務)
- ・高速道路推進費朝来残土処分場整備事業関連  
..... 6億7,000万円  
(測量設計、工事請負、土地購入、立木補償費)



大内谷残土処分場

## 河川費

- ・富田川土砂浚渫工事請負費  
..... 1,380万円  
(災害による土砂浚渫工事)
- ・砂利採取費負担金  
..... 900万円  
(富田川河床整備に伴う砂利採取費負担金)



岩田橋周辺浚渫場所

## 都市計画費

- ・特別会計公共下水道事業繰出金 ..... 1億246万9千円  
(特別会計公共下水道事業会計への一般会計からの繰出金)

## 住宅費

- ・委託料、工事請負費 ..... 943万3千円  
(定住促進住宅 管理委託料・工事請負費)

## 消防費

- ・消防事務業務委託料・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2億28万5千円  
（消防事務に係る田辺市への委託料・・・上富田消防署分）
- ・備品購入費・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2,278万7千円  
（高規格救急車購入費）

## 教育総務費

- ・適応指導教室臨時賃金・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 190万9千円  
（20年度より行っている不登校児童の対策費で賃金）

## 中学校費

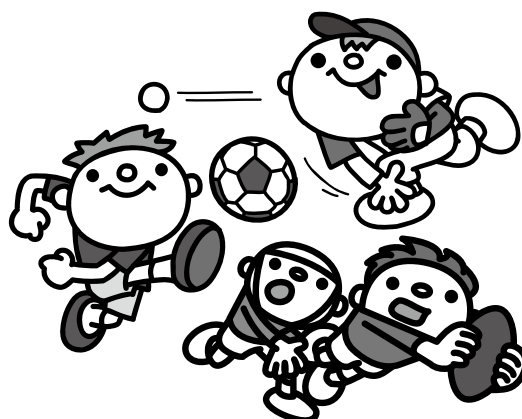
- ・英語指導助手設置事業費・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 469万4千円  
（中学校等の英語指導助手に係る費用）
- ・海外研修業務委託料・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 920万円  
（毎年実施している上富田中学校生徒のオーストラリア研修委託料）

## 社会教育費

- ・生涯学習事業費（ボランティア活動、上富田町文化協会活動補助金 他）  
（生涯学習の活動に伴う費用）・・・・・・・・・・・・・・・・ 910万4千円
- ・放課後児童対策費・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1,857万1千円  
（あすなろ学童保育、なごみ学童保育の業務委託料等）
- ・図書館運営費（町立図書館の運営費）・・・・・・・・・・・・ 1,012万9千円  
（図書購入費含む運営費等）
- ・文化会館運営費（自主事業委託料他）・・・・・・・・・・・・ 3,779万5千円  
（上富田文化会館の管理・運営・催しに係る費用）

## 保健体育費

- ・紀州口熊野マラソン実行委員会補助金  
・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 300万円  
（紀州口熊野マラソンに伴う実行委員会への補助金）
- ・紀の国わかやま国体上富田実行委員会補助金  
・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 250万円
- ・体育施設管理費・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3,901万4千円  
（上富田スポーツセンターに係る管理費等）



## 公債費

- ・長期償還金（元金）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 5億8,945万7千円  
（借入金の償還元金）
- ・長期償還金（利子）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 9,702万4千円  
（借入金の償還利子）



# 山本明生 議員

(質問方式 一括方式)

1. オカフジについて
2. 上中表示について
3. ひょうたん橋交差点について
4. トリムコース整備について

# ここが聞きたい!

平成25年3月定例会の一般質問は、日程3日目の3月15日に行われ、5議員が登壇し、当局の考えを質しました。その質問、答弁の趣旨をまとめて掲載しています。



山本議員

## ① オカフジについて

**質問** 最近、有名なオカフジの株が枯れ、残り数本になったように思われる。

何らかの対策が必要ではないか。

**町長** 私は少し別の方からちょっとお願いしたいことがあるのです。

県の文化財に指定されている田中神社の森で、最近周辺の環境が変わってきておられます。周辺が埋められたり、水田の湿地化が進んでいるように思っています。

周辺をどの様にするか検討させていただきたいし、周辺土地を買収して保存する必要があるのではなからうかと思っております。

## 教育委員会生涯学習課長

オカフジは学術上も貴重な植物でありますので、田中神社の森全体の環境も含めた保護が必要になってくるかと思っております。

つきましては、今後県教育委員会文化遺産課の指導を仰ぎながら、また専門家の意見を聞きながら処置を検討します。

## ② 上中表示について

**質問** 上富田中学校の学

校名を国道311号線から見えるところに表記し、地域外の人に口熊野のこの位置に上中があることを知ってもらうことも必要なことではないのか。

## 教育委員会総務課長

上富田中学校は、正面玄関の旧国道側になるのですが、熊野高校の東交差点の信号のところに上富田中学校と横文字で校名を表示してあり、その場所が歩行者、自転車、車の出入り口となつています。

上富田中学校を知らな

い地域外の方に知ってもらえるための表示とこの点です。校名表示が必要であるのか、あるとすればどの位置がよいかなど教育委員会だけでなく、中学校や保護者会、また創立50周年記念事業実行委員会にも相談するなど検討してまいりたいと思っております。

## ③ ひょうたん橋交差点について

**質問** ひょうたん橋(深見橋) 交差点について、

朝の通勤時間帯に岡から市ノ瀬方面に向かう車が、多く、信号機の時間配分を少し加減してもらえばスムーズな通行ができるのでは。

## 総務政策課長

和歌山県公安委員会の所管となっておりますが、朝の通勤時間帯の渋滞対策につきましては田辺警察署にしかるべき措置を取っていただけるよう働きかけてまいります。

## ④ トリムコース整備について

**質問** トリムコースの整備について、町内では、彦五郎堤防がよく整備されているから利用者が多いように思われます。

また、町内で他にも3ヶ所指定されているのですが、町民の方から岡川の堤防を少し整備して、トリムコースにすれば素晴らしいコースになるのではとの指摘があるが。

## 総務政策課長

上富田には4つのトリムコースが整備されております。

1つは彦五郎公園付近のコース、次に稲葉根公園から岩田公園を結ぶコース、次に、市ノ瀬のコスモス園から畑山橋を結ぶコースがあります。最後に周回コ

ースとして上富田スポーツセンター内のコースがあります。

岡川堤防につきましては、和歌山県の管理道にもなっておりますので、整備にしましては県と十分協議してまいりたいと考えております。



# 吉田盛彦 議員

(質問方式 一問一答方式)

1. 上富田町市ノ瀬診療所について
2. 2011年台風12号災害の復旧の進捗状況について



吉田議員

## ①上富田町市ノ瀬診療所について

**質問** 町の財政内容については大変厳しい状況が続いている。減債、財政調整基金を含めても残っているお金は4億2,673万円。財政調整基金については4,500万円しか残っていない。起債の24年度末62億2,700万位の起債があって、特別会計を含めると120億位に

なる。町民1人当たり80万円の借金を背負っている状況で、今後一部事務組合、特別会計への繰り入れ、扶助費等減ることなく一般会計へ圧迫をする地方交付税も日本国財政の厳しさを見ると今後増えるとも考えられない。これからは最少の金額で最大の効果を生み出す知恵を職員一丸となつて考えなければならぬ。健全財政の確立も大きな仕事となる。そういったことを念頭に市ノ瀬診療所について質問をします。

当初予算の診療収入は5,878万9,000円。減額が5,206万3,000円。実質は672万6,000円。あまりにもその差が大きい積算の根拠は。また診療科目とシテムは。

**住民生活課長** 旧オキ外科の診療明細により月平均700万円程度になり、これに近い月ということまで平成23年11月分約720万を参考に根拠に予算計上してあります。診療科目は内科と外科、旧オキ外科と同一。シテムは6名の医師が奇数偶数曜日によって替わって診療をしております。

**質問** 平均に近い11月分をとったということだが、お医者さんも忙しい月と暇な月がある。背水の陣を敷いて一番最低の月で予算を組むのが本当だと思ふが。



**住民生活課長** 先ほど言いましたように11月分として、実人員426人、延べ828人。市ノ瀬診療所では月平均、実人員45人、延べ145人、実質381人の減となり、1日平均9人の実績となっております。

**質問** 25年の予算で診療収入各合わせ2,951万4,000円と出ているが、前年の計算でいくと1,008万円くらいはならない心配するが。

**住民生活課長** 患者数が大変減少しています。診療時間の追加などを見込み昨年以上の患者数の確保をし、前年度の月平均2.4%アップと積算しております。

**住民生活課長** 患者数が21ヶ所残っています。河川が主ですが、25年度中の完成を目指しています。

**質問** 生馬中根地区の土砂災害当初地元負担4%位と



## ②2011年台風12号災害の復旧の進捗状況について

科だけ、病院には恵まれているいい町だと思っている。

**産業建設課長** 25年度中に実施すると聞いています。

**質問** 上富田町の県・町を含め何%位進んでいるか。

**産業建設課長** 県は、24年度中に100%達成出来ると思います。町の方は公共土木100%、農地、農業用施設90%、林道100%です。

**質問** 県工事で上富田の残っている工事場所は何ヶ所か。

決めていたがその後どうなったか。

# 沖田 公子 議員

(質問方式 分割方式)

1. ごみ問題について
2. 介護支援ボランティア制度の導入について



沖田議員

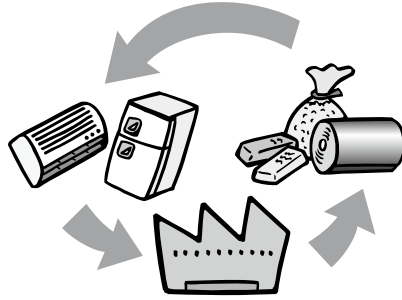
## ①ごみ問題について

(1) 小型家電リサイクルについて

**質問** レアメタル等の回収を進めるための小型家電リサイクル法が昨年8月に成立し、本年4月から施行となる。この制度では、回収業務の中心的な役割を担うのは市町村となっている。本町も取り組むべきでは。

**町長** 上富田町だけが反

対できないので、回収箱をするとか検討はしませんが、あとどういうふうになるかというのが明確にならないうちは難しい。



(2) ごみ袋の件について

**質問** 現在のごみ袋は大変縛りにくいとの声が多い。取っ手があれば縛りやすく、持ち運びにも大変便利である。見直すお考えは。



**町長** 私は今の経済事情とか、福祉施設の品物について積極的に公共が使ってほしいと言っている。今の形のものであるので、今の形のもので今の時代としてはベターかなと思っております。

(3) エコスタイル事業について

町との協働事業であるエコスタイル事業は、現在6年を経過し、今はボランティアの全面的な協力が進められているが、将来どういう方向に進めていけるのか3点に渡ってお伺い致したい。

**イ.** 資源ごみの回収は将来すべて拠点回収にするのか。  
**ロ.** 戸別回収はなくす方向に進めていくのか。

**ハ.** 仕分けの人員は今のようボランティアで取り組むのか、町内会などで取り組むようにするのか。

**町長** 今の段階で的確な答弁をしたらいいのですが、最終処分場の今後の行政を見る中でどういふふうにするか大きな課題

になってきます。当面の間は検討すると言ったことご理解を頂きたい。



**住民生活課企画員** ハについて現在取り組んで頂いていますエコスタイル

事業については、引き続き今のボランティアでの取り組みをお願いしたい。新たに拠点回収に協力頂ける地域が出てきた場合には、ボランティアでの協力をお願いするとともに、なるべくなら町内会で取り組んでもらえるようお願いしたいと考えています。

## ②介護支援ボランティア制度の導入について

平成19年9月に、厚生労働省が高齢者の介護予防の取り組みとして、介

護支援ボランティアの活動を市町村が実施することを認めました。この制度は、元気な高齢者が介護保険を利用することなく高齢者の社会参加活動として介護支援ボランティア活動を行うことでポイントが付与され、そのポイントをお金に還元することで自らの介護保険料に充てることができます。高齢者の介護予防や生きがいづくりのためにこの介護支援ボランティア制度の導入を提案したい。



の後期高齢者、前期の人が後期の人のボランティア活動するということが必要な時代が来ます。上富田町としてボランティアに参加しやすいような状況づくりについては、私自身も努力はさせていただきます。



**住民生活課長** 介護支援ボランティア制度導入につきましても、介護支援ボランティア制度そのもの及び地域支援事業を含めた全体的な事業の中で、今後、研究していきたいと考えています。

# 木村政子 議員

(質問方式 分割方式)

1. 体罰問題について
2. 不燃物収集袋の改良について



木村議員

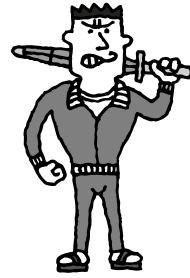
## ① 体罰問題について

**質問** 学校教育法第11条では、児童や生徒への体罰禁止を規定しているが、ここ10年、毎年400人程の教員が、体罰により処罰されています。うち、部活動中の処分者は4分の1以上を占めています。

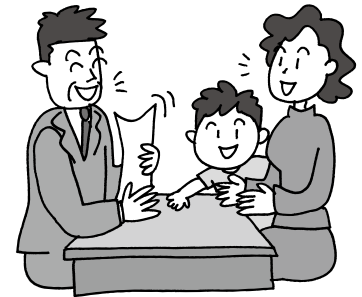
桜宮高校の自殺問題を受けて、和歌山県教育委員会では、現在、実態調査を実施しているが、上富



田の実態はどうか。その結果をどう把握しているか。



**町長** 大津市や桜宮高校の問題は悲しい出来事であり上富田町では発生しないよう願うし、発生しないまちづくりをと思っています。体罰は決してしてはならない行為であり、否定する立場です。



**教育長** 体罰の現状ですが、本町では教育職員の自己申告、児童生徒の申告、見たという児童生徒から、小中学校合わせて9件の体罰があったと報告されています。

主な内容として、部活動で意識喚起のため、また叱咤激励のため、軽く叩いたり押ししたりしたものが多く、けがは無く、保護者からの相談はありません。この9件については、現在学校で聞き取りを行い、体罰の事実を確認中ですが、教職員による自己申告7件、受け取ったという児童生徒が2件、見たというのが4件で、やや判断に苦慮する場面もあります。

大変厳しい状況、大事な事案に至っていないこ

とはありがたいが、そのような認識のもとで行うことは断じて許されないと考えています。

家庭との十分な連携を通じて、日頃から教員と児童生徒、保護者との信頼関係を築いておくことが大切と考えています。

## ② 不燃物収集袋の改良について

**質問** 現在は資源ごみと埋立てごみを同じ袋で、日を違えて戸口収集に出しているが、住民の環境に対する考え方を資源の再生化に向けてためにも別々にすべきである。又、厚すぎて結びにくい。

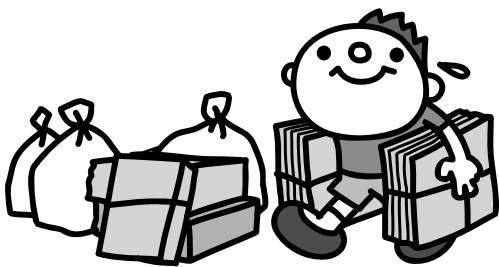
広域に進むとプラスチックも別分類になる。不燃の袋は他市で製作されているが、町内では出来ないのか。薄くするとコストはどうなるか。



ごみ袋を新たに作りたい。資源ごみと埋立てごみには、割れて破片になるごみがあるので、現状の裂けにくいごみ袋のままで行きたい。

平成25年4月から、公共機関等が、障害者就労施設等の提供する物品サービスを、優先的に購入することを勧める「障害者優先調達推進法」がスタートします。

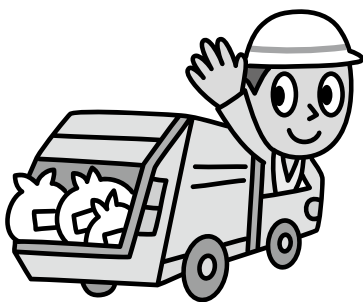
引き続き第2三幸園からの購入を考えていますので、ご理解をお願いします。



**住民生活課企画員** 本町の不燃物収集袋は紀の川市粉河の社会福祉法人で、障害者の就労施設である「山水会第2三幸園」から購入しています。不燃袋の厚みを減らすことは可能とのことでサンプルを取り寄せて、研究します。

コストは薄くすると少し安くなります。

資源用と埋立て用を分けることについては、今後は、プラスチック用の



# 井 潤 治 議員

(質問方式 一括方式)



井潤議員

## ①生活保護基準の引き下げについて

質問 憲法25条には「すべての国民は健康で文化的な最低限度の生活を営む権利を有する」こと。さらに「国は、すべての生活部面において、社会福祉、社会保障及び公衆衛生の向上及び増進に努めなければならない」とし、地方自治法の趣旨にも「住民の福祉の増進を図る」ことを目的としています。これを根拠として生活保護基準があります。

2003年には0.9%、2004年は0.2%、それに比べて今回7年ぶりの大幅引き下げの方針を決めました。その引き下げ理由として物価下落分を下げるとしています。町長はこの理屈を含めて引き下げにどういうお考えか聞かせてください。保護の切り下げで保護をはずれる住民も出ると思いますが状況はどうか。他の制度への影響として(1) 就学援助について(2) 介護保険らについて(3) 保育所の免除についてどうか。

町長 生活保護は最低限度の生活保障をすることが基準でありその時期に見合った生活保障をすることが必要と考えています。20歳から60歳まで国民年金を掛けた場合65歳支払いで年間78万8,000円、町の最低年金所得者は25年しか納付していないので49万1,562円、こういう年金と比較した時の生活保護所帯とのことが出て来ます。町には無年金者が79名あるそうです。無年金者問題、高齢の方々の生活に対しての保護が増加すると考えています。住民生活課企画員 生活扶助基準の見直しに伴う他の制度への影響につきましては保育料の免除、就学援助など関連する制度の趣旨や目的実態を十分考慮しながら、できる限り影響が及ばないよう対応していく。教育委員会総務課長 教育関係では就学援助費、特別支援教育就学奨励費、幼稚園就園奨励費、進学奨励費があります。生活保護を外れたとしても準要保護の対象となりますので本人への影響は出ません。しかし外れた場合生活保護費から出ていた学用品分、小学生1人当たり年間3万円位、中学生で6万円位が就学援助として町の負担になります。しかし国は平成25年度当初予算に生活保護となっている者は引き続き生活保護者とし補助申請を認める扱いになりましたので影響は出ません。幼稚園就園奨励費は上富田町私立幼稚園就園奨励費補助金要綱で生活保護世帯及び非課税世帯を同じ区分としているのでこれも影響は出ません。進学奨励費では、基準切り下げで保護を外れると高校生の奨励費が月額7,000円が5,000円に、大学、短大の奨励費で月額1万5,000円から1万円になります。住民生活課企画員 町の現況は平成25年3月現在

77世帯、88名です。単身世帯が68世帯、2人が7世帯、3人が2世帯です。60歳以上の方は61名で全体の69.3%を占め、そのうち50名の方が単身世帯となっています。

## ②体罰問題について

質問 体罰は学校教育法の第11条で児童、生徒に「体罰を加えることはできない」と禁止されています。

そこで◎体罰をどうとらえているか◎町内小・中学校で過去に教委に報告された事実はあること、問題点の把握、調査をしていること◎アンケートでも結果が出ていること◎地域社会教育のスポーツクラブ活動などで暴力とか暴力的指導はないのか、実態把握しているか◎クラブ活動など体罰のない学校づくりをどういう議論をして構築していくのか。体罰問題を考える時にゲンコツとかビンタをくらわす指導があたかも日本社会では熱血指導とか愛のムチとか、そういう言葉でカムフラージュされている傾向があります。そもそも教育に暴力は要らないのです。そうでなければ教育は成り立ちません。

町長 大きな関心を持つ必要がある。大津市などの問題は、要するにその地域の道徳教育の低さから発生したと認識しております。上富田町はこういう問題が起こらないようやはり人権教育とか道徳教育の向上に努めてまいります。中学では老人会との交流事業を積極的に行っています。

教育長 文部科学省は体罰について平成19年2月に学校教育法第11条に規定する児童生徒の懲戒、体罰に関する考え方を示しています。児童生徒の指導に当たり、11条のただし書にいう体罰は、教育活動全般において、いかなる場合においても行ってはならないことを定めています。懲戒の内容が体に対する侵害を内容とする懲戒、殴る、蹴る等児童生徒に肉体的苦痛を与えるような懲戒、正座、直立等特定の姿勢を長時間保持させる等に当たると判断される場合は体罰に該当するとしています。◎過去に報告された事案は平成22年23年に1件ずつあります。◎県教育委員会より体罰アンケートについて町教委で取りまとめ報告の依頼があります。平成24年4月から2月の調査日までの期間調査です。

本町アンケートで教職員の自己申告7件、児童生徒の申告2件、見たという児童生徒が4件、小中合わせて9件の体罰が報告されている。9件については体罰の事実の確認中。◎スポーツクラブの活動での体罰の有無につきましては詳細な調査は行っていません。体罰は人権を侵害し、人格を否定するもの。子供の育成や教育活動に必要な行為であることを強く受けとめ周知徹底を図ってまいります。◎体罰のない学校、地域づくりについては、研修会や集いの場の活用、みんなぐるみで考える場づくりをしたい。児童生徒の人権にかかわる事、子供や保護者との信頼関係を損ねるものとして教職員に注意喚起、校長会、教頭会、学校訪問時に教職員への啓発周知の徹底をします。◎地域の場合、勝利至上主義にならず子供の健全育成、一貫指導体制の構築、長期的視野での取り組み「スポーツ好きな子供を育てる」を理念としていきます。

ほかに「予防接種法対象外・予防接種法に基づく既存定期接種ワクチンの問題について」、「遊休町土(田・畑)の現状と将来的方向について」も質問しています。

# 各委員会による現地視察

2月26日  
高速道路対策特別委員会3箇所

朝来荒堀地区 大谷地区跨道工事



朝来大内谷地区 新川橋上部工事



他に朝来荒堀地区 荒堀池埋め立て工事を視察しました

朝来駐輪場



上富田中学校体育館



他に大谷児童館遊具、旧隠岐邸、生馬ゴルフ場跡地を視察しました



平成24年度

「口熊野の森(水源かん養・景観整備)事業」が2月24日に実施されました



## 編集後記

「議会だより」第142号をお届けします。

今回は、3月定例会で審議した平成25年度一般会計・特別会計の主な内容他5議員の一般質問を掲載していますので、ご覧ください。

3月定例会の議会一般質問では、久しぶりに5人の議員が質問されました。

今議会から傍聴される住民の方にもより質問の内容を明確にし、理解していただくために、一問一答方式、分割方式、一括方式の選択性を導入いたしました。

是非、大勢の方の傍聴をお願いいたします。

また、議会運営委員会では、質問方式の議論と並行して、議会のインターネット中継導入を前提とした検討を進めています。

このように、住民の皆様にかかれた議会を目指し、「議会だより」もその視点で編集して参ります。

「意見、感想をお寄せください。」

